

6stepsを暮らす

木村玲奈さんが振付をおこない、2023年12月6・7日に上演を予定している「[6steps | 6段の階段+振付書+演出から生まれるダンス](#)」(YPAMフリンジ2023参加作品、@STスポット)の演出をチーム・チーフプロが担当します。その演出ノートとして、6stepsとの暮らしを、メンバーの松本奈々子と西本健吾が記録していきます。チーム・チーフプロが生活・制作の場としている部屋に6stepsを招き、6stepsと生活をともにするところから、6stepsの上演を「演出」するとはどういうことなのかを考えていこうと思います。

2023年10月 チーム・チーフプロ

12月28日(木)

明日6steps引っ越し日なので、夜西本さんと片付け、そうじ。ニヶ月お世話になりました。(奈々子)

午前中は森下スタジオ。ドラマトルクについて考える。屋に有楽町に寄って帰宅。明日は6steps解体。掃除と片付け。感慨深い。(西本)

12月25日(月)

どうか、階段の上は触らないでくださいと西本さんをお願いして、帰省。(奈々子)

12月24日(日)

西本さんと友人の家に行った。

お家の近くに土手があって、階段じゃなくて坂ですが、ひさしぶりにのぼって転がり落ちるのをたのしんだ。みんなの上り下りする身体、滑り落ちた時に受け止めようとする身体、そっぽむく身体。その土手を降りたさきにある川は、ほぼまうえに首都高があり、首都高からさらにみあげると冬の空が高かった。さむくなるまでみんなで坂で遊んだ。

帰り道にみつけた落書きは「飛鳥」とかいてあって、西本さんがその字の間に立つと羽が生えたみたいになってかっこよかった。(奈々子)

12月23日(土)

朝作業、午後コーヒー豆やさん、夜は出かける。

足元がさむいので階段の上で作業をするのがあたりまえになってきた。階段の上は手作業の場となり、段ごとの役割分担がなんとなく生まれつつある。2段目には〇〇関連の本、3段目には△関連のもの、、、という感じでたぶんわたしにしかわからない分けかたで配置してあります。5段目はさいきんふたりが気に入ってときどきあつめる帽子が並べてある。帽子は楽しい。(奈々子)

12月22日(金)

朝は階段のうえ、夜は公民館で作業。(奈々子)

12月21日(木)

帰ったら6stepsが作業台のようになっていた。次の企画で使う機構、本、パソコン、プロジェクターなど。本番が終わって聖性がすこしずつ失われているのかもしれない。

電車で、宮崎駿とジブリのドキュメンタリーをみた。宮崎駿の身体をたくさん映して面白かった。あと、ジブリのスタッフがあらぶる宮崎駿を鎮めようと、宮崎駿の机の周りにしめ縄みたいなものをぶら下げて、结界を作ったのがおもしろかった。家に帰ったら、松本さんが、額にさまざまな感情が集まって放出されそうだと言っていた。(西本)

12月17日(日)

午前中は3月の公演のための打ち合わせ、午後は宮下さんと研究会。帰宅後最上段で昨日の映像を編集。床がさむいので階段の上が作業場になってきました。(奈々子)

12月16日(土)

大急ぎで家を出るまえに木に水をあげる。いま木は階段の裏にあります。半日森下スタジオで過ごす。帰ってたべて、即寝る。(奈々子)

12月14日(木)

夕食後に西本さんと最近聴いてる音楽のはなしをしていたら、西本さんはその曲をかけてゆらゆらゆれて階段3だんめまで登り、それからまたゆらゆらゆれて階段を降り、ゆらゆらゆれていた。いい踊りだったのでホームビデオに記録した。まいたけのたきこみごはん、ぶたきむち、あさりのさかむし、きゃべつ。(奈々子)

揺れた曲は下田逸郎「緑の匂い」。ワルツの時間というアルバムに入ってる。(西本)

12月13日(水)

6stepsは“コンテンポラリーダンス入門”ともいえるんだろうな、というはなしを遅めの夕ご飯をたべながらした。普段踊り手は足の裏の小さな床面の凸凹とかを手がかりに踊っているのだと思うから、踊り手としてはものすごく特別なことをしていないのかもしれないけど、6stepsが特別なのはそれを観客にもわかるルールとしてひらかれていることなのかもしれないね、階段だれでもだいたいほったことあるだろうから。6stepsのことをずっと考えちゃう。まいたけの炊き込みご飯、しょうがやき、キャベツ、白子焼き、いちごをたべた。夕方から3月の公演の場所をみにいった。とてもたのしみ。(奈々子)

12月12日(火)

6stepsのうえに並べていた本をもとの棚にもどし、ついでにそうじをした。

<https://t.co/Jhw16Rrul2> 「日本から私たちができる🇺🇸🇯🇵パレスチナ連帯行動🍉👏」

👉そしてこのまとめがすごいと西本さんが教えてくれた。ボイコット先リストをみて、セブンとかイオン系のものは買わないようにしてたけど、帰りがすごく遅くなり、家の冷蔵庫が本当にからっぽだったのしょうがなくその時間あいている小田急OXにはいった。(奈々子)

12月11日(月)

6stepsのうえに本をならべておいたら、エアコンクリーニングのおじさんにかっこいい棚ですねって褒められた。階段ですって返事した。

これだけものが並んでると祭壇みたいで、神聖さを帯びてくる気がする。

エアコンはきれいになったから、もう戻していいんだけど、なんだか面白いからそのままにしてある。(奈々子)

12月10日(日)

オル太みてきて家についてから、iPhoneで書いている。当日パンフのことばを考えるあたりから明確になってきた(それまでもぼんやり考えていたけど)聖なるもの、というイメージをずっと引きずっている。今回使ったことばはどのように踊りと観客を結べたのか結べなかったのか。STスポットの6steps、家にある6steps、そのほか日常で出会うさまざまな階段。その差異と同じところのこと。今日みたオル太の舞台でも、階段ではないけど、ベンチのような機構が使われていた。まだ家に6stepsがある。

そういえば本番最終日の夜に脱いだ服を6stepsに置いたとき罪悪感と解放感があったことを思い出す。(西本)

オル太をみにいった。日本を取り巻くイデオロギーの「型」「スケッチ」がならんでいく。前「生者の国」を見たときに印象に残っている否応なく観るものを巻き込んでくる肉体的な「運動」「勢い」はほぼなくて、それはどういう意図なのだろうと疑問におもい、6stepsのことをなんとなく思い出す。(奈々子)

12月9日(土)

夕方からえりさが家に。ひとりが6stepsにすわったり6stepsの上を上下に移動したりしながら、stスポットでみにきてくれた6stepsのこと、最近のお互いの関心ごと、小田急oxのソーセージがいがいとおいしいこと、いろいろおしゃべり。うれしいじかん。

ランニングマンから四股ダンスまで、結果として体のかたちがそれぞれの作品で変わることが多いので、それを知ってるひとびとから今回はどうだった?尋ねられる。今回は背中ときめたときから、背中、だったと思うけど(晴れの日には肩甲骨や上半身をゆらしながら1時間強散歩してた)、鍛えるよりも身体をメンテナンスする、身体との付き合い方のほうを特に後半はより考えていた気がする。(奈々子)

12月7日(木)

公演2日目、最終日。18時半から。

満員、ありがとうございました。(奈々子)

12月6日(水)

公演初日。

14時からの上演が終わった後、明日の上演のことを考えようとすると、明日何が起こるか、生きてるか死んでるか、ほんとにわからないという感じ。もちろんやることはクリアだけど、なんだろう、ぎりぎり、縁にいて。それで、ぎらぎらしている。こんにちわ! さようなら!

松本さんたちの上演もみることができよかった。(奈々子)

たのしかった! 奈々子さんがみたことない動きをしていた笑

劇場で、舞台が始まる前となると、やはりなかなか来場者の方々に6stepsに登ってもらうのはむずかしい。終わったあとはそうでもない。(西本)

12月5日 (火)

ゲネプロの日。

朝からゲネプロ。じつはSTスポットみたいに6段目で立てる天井の高さがあるところで今回のストラクチャーを初めて通す。通すかわりに何度も脳内で通しをした。6stepsとは1か月一緒にすごしているからか、え、もうここまでできたの？とやっている途中でびっくりした。(奈々子)

12月4日 (月)

小屋入りの日。客席が!!! そして、くみたてられた6stepsに、照明が!!!!!!!

当たり前だけれどSTスポットの天井は家よりもずいぶん高いので、背をぐんと伸ばすことができる。STスポットの白い壁と黒い天井の境目がわたしはとてもすきでじっとみてしまう。ちょっと足がすくんだり落ちそうになったり。

あかりづくりのときは、プロジェクトメンバーの杉本音音さんがわたしの代わりに6stepsのうえにいてくれた。音音さん、とてもとてもすてきだった。

6stepsの公演をおこなうとき、その「練習」ってなんだろうと、れいなさんと話す。やりすぎるとちょっと身体に負担がかかるし、今回つかう木でできた6stepsを実際につかって練習ができる場所もとても限られている。けど、コンセプトualに使うとなんだかもったいない感じになるきがする。

れいなさんは、気持ちを高めるために前日にとってもおいしいものを食べるらしい。(奈々子)

12月3日 (日)

家で6stepsの準備。西本さんが寝た後ひとりで6stepsをみながらぼーっと当日パンフレットの文章をかんがえていて、かきだしたことばのなかにプライベートな家とパブリックな劇場という分け方からはみでるなにかということばがあって、けどそのはみでるなにかってなんなんだろうかと、なにをさぐってるのか、と、わからないんだけど、でもなんだか居心地が良い場所。(奈々子)

12月2日 (土)

朝、家でリハ。昼は行ってみたかった町中華へ。喫煙可能・・・！焼肉丼を食べる。お腹が満たされすぎて昼寝1時間。夕方から家でリハ。一番盛り上がるシーンを僕も試してみる。落ちる動きたのしい！安倍さんに字幕作成を依頼。(西本)

下の階の住人の生活の邪魔にならないよう、時間帯に気をつけて家で6stepsの準備。(奈々子)

12月1日 (金)

日記しばらくサボってました。日記がそもそも苦手なことを思い出した…。劇場版『輪るピングドラム』がいつの間にかAmazon Prime Videoに!!!家に帰ってきたら停戦休止が終わっていた。玲奈さんへの手紙をしたためた。(西本)

今週と先週の日記を思い出しながらかいた。

休戦が終了した。

朝 カステラ、ドラゴンフルーツ、昼 うどん、夜 野菜豚炒め、やきなす、玄米、さつまいものみそしる、たくさんコーヒーを飲んだ。(奈々子)

11月30日 (木)

朝犬のポシェットをぶらさげもって散歩。

STスポットから帰ってきたら家にある階段との向き合い方が変わったように思う。ちょっとだけ遠くからけれどそこに立ちながら、6stepsをみてるように思う。ホームビデオを撮る用のカメラで自分が登るのをなんどもみる。夕方4時間コーヒー豆屋さんではたらく。明日から豆の値段があがる。燃料の高騰などで、と説明すると、大体のひとは納得してお互い眉と肩をさげあう。

さすがにいちにち登り続け立ち続けたらひざがかくかくゆうのでいたわるために毎日お風呂にはいって長めにストレッチをする。

youtubeで階段と検索したらいろんなひとがいろんなことをしているのをついついみて、夜更かししてしまう。

[階段をおりるひと](#)

https://youtube.com/shorts/yU5D8nPm9FM?si=Z-aaWMfaEs_GScZK

[階段をつくるひと](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=MQ-nTMcW0Gk>

(奈々子)

11月29日 (水)

今日もSTスポットへ。

STスポットにおいた6stepsはちいさくおさまってみえる。けれど実際のぼって観たときにひやっとするくらい高く、そこにギャップがあるのがおもしろい。西本さんがこれでもかというくらい大きくなる。

横浜のビブレで膝のサポーターを買った。サッカー選手がつけるようなやつ。つけたら痛みが和らいだ。ついでにふわふわの犬のポシェットも買った。

6stepsの演出はむつかしい。いまだ色々悩んである。でもいつもそうか。家に帰ってきて6stepsがあって、キー!という気持ちにもなった。登って、寝た。

夜中起きて、宮下さんからの6つの質問をふまえてテキストを書く。

朝バームクーヘンとコーヒー、昼おにぎり、おやつバームクーヘン、夜バインミーを食べる。明日は野菜をたべる。

(奈々子)

11月28日(火)

STスポットにれいなさんとはるひこさんが6stepsを置きに来てくれたので、それをひたすら上り下りする時間を過ごしました。

(奈々子)

11月27日(月)

6stepsの照明についての打ち合わせ。どんなひかりがほしいか、ぐたいてきに考え、伝える。階段は光で見え方がずいぶんかわる。朝昼晩雨晴れ曇り。もしも照明で実験する時間がたっぷりあったら6stepsや6stepsがある空間を照らすことだけをする、演出とかもよいなあとおもう。さいきん狭い場所、閉ざされた状況に、恐怖感をもってしまうので、とても長い時間あいていて、ひとりとかふたりずつはいれる6stepsというのもよいなあとおもう。改めて今回依頼いただいた劇場での公演という時間のきりとりかたの特殊なことをかんじる。

(奈々子)

11月26日(日)

さむくて暗くてしょうがなかった日。6stepsのことを西本さんと考える。下北沢へ、植物を買いに行く。名前はつけないことにした。もともと三軒茶屋に行こうとしていたけど、日曜日はお休みだった。

足のことを気かけながらのぼっておる。

夜ごはんはカレー。寒いと胃がやなかんじ。(奈々子)

観葉植物を買った。(西本)

11月25日(土)

朝西本さんと話す。

昼から20世紀ダンス史研究会。ホセリモンについて。めちゃくちゃ面白かった！！！！

ダンス、

(奈々子)

11月24日(金)

松本さんとの会話。6stepsを複数人が演出するのは、バレエの例えば『くるみ割り人形』をいろいろな人が演出することとどう同じでどう違うのか？振付を解釈することと演出の違い？照明や音響のことも考え始める。週末に詰める。(西本)

11月23日(木)

友人との会話。エスカレーターで、片側は立っている人用でもう片方は歩いて登ったり降りたりする人用という習慣は、現在やめたほうが良いということになっている。実証実験でもそのほうが最終的にはたくさんの人を運ぶ

ことができるらしい。この慣習はいつから？友人と二人で横並びでエスカレーターに立とうとしてみたけどすごい緊張感だった。(西本)

11月21日(火)

すこし日記お休みします(奈々子)

身体への負荷がかかりにくい階段ののぼりおりの仕方を考える。怪我をしないように。階段ののぼりおりのハードさは、通勤する身体やお参りの身体のことを連想させる。(西本)

11月20日(月)

とにかく動画を撮り、その動画から切り出した小さいな単位の動きを集めていて、いま60-70くらい。100はいきたい。全ぶのぜんぶを注いで階段をはいはいで登る赤ちゃんのとなりで上り下りをしていたら、いつのまにかその赤ちゃんは振り返ってこっちをみていた。階段は気付かぬうちにひざに負担がかかるみたい。(奈々子)

11月19日(日)

疲れていたのか、1日の記憶があまりない。午前中は事務仕事。午後はそのほかの仕事。夜、玲奈さんにももらった「割れかりんとう」開封の儀を行い、食す。うまい！松本さんが6stepsの内側(後ろから入れる空間)を自分の巣のようにレイアウトし始めている。本と服。

上演の具体的な構成のことを考え始めるとどうしてもそのほかのあまり関係のなさそうな、雑多な思考が排除されてしまう。この日記にどれくらい具体的に上演プランって書いても大丈夫なのか、松本さんに相談しようと思う。(西本)

11月18日(土)

6stepsがあると家をきれいめに保とうという意識を持つようになる。階段周りを少し片付けてから、西本さんといつもの階段で6stepsをためしにいった。大体の構成や感じについてはなし、明日から文字化してためしてみる。階段周りは今日は土曜日でお天気なのでいつもより家族連れが通り過ぎるのが多い印象。帰ってきてから家にある6stepsをためす。6stepsははじめ家に馴染んでいるなどおもっていたけどちかごろちょっと異物感がでてきた。だってぜんぶの導線を邪魔しているのです。(奈々子)

片付けと掃除！それから外の階段で松本さんと身体を動かした後、家に戻って6stepsを試す。特に音楽をいろいろ試してみる。なんの音楽をかけるか、どこからかけるかについてはYAUでも大崎さんがゲストにきた回で試したけど、面白い。午後は出かける。(西本)

11月17日(金)

朝階段のうえやしたで明日のワークの準備。

夕方からは階段よりも坂をたくさん上り下り。人に連れられて街をあるくのは自分で道を決めて歩くのとはまたちがう感覚。どこを歩いているか線的にはわからないけど上り下りのテンションや地形の波打ちはつよく身体にのこる。(奈々子)

6stepsをのぼりおりしながら、上演の構成についてのアイデアを出していく。それから目下の悩みは、現在6stepsがある場所に置いていた洗濯物干しを玄関に移動させたせいで動線が塞がれ生活しにくいこと。明日少し整理することにする。(西本)

11月16日 (木)

動きを記録してひとつずつぬきだし名付ける作業！！最近毎日1時間半くらい歩いてるのですが、階段に限らず上り下りの地形って感情に作用するなにかがある気がします。(奈々子)

駅前の大階段で少し動いてみる。そういえば二段飛ばしをこれまであまり試してこなかった。家の中だからだろうか。外の階段だと身体を大きく使える。子どものころ、最大何段とばしでのぼれるか、おりれるかを友達と競い合ったことを思い出す。あれで怪我するやつ結構いた気がする・・・。(西本)

11月15日 (水)

今日も外から。緑道をいつもと逆方向に歩いたら、道がずっと平らで階段が少なかった。駅前の大階段、寒くなってきたからか子どもたちはいなかった。家では相変わらず頭をぶつける。ビニール袋を被ることで予防。6stepsのうえでおきることに、エモで満足してしまってるのではと自分に疑問をもちはじめたので、記録をもっと細切れにして見ていく方法を考えよう、と思いながらねむりにつく。(書きながら寝たみたいなので加筆😊)。(奈々子)

たまに6stepsに生活物を置くようになってきてしまった。量んだ洗濯物を一時的に、あくまで一時的なものとしてだけど、6stepsに置いてしまった。まずい。(西本)

11月14日(火)

天気が良くて外から！乗っ取られについて、落ちながら降りるときにディレイする部分について考えてる。二つ目については夜西本さんも似たようなことを考えていることを知って、ふしぎだった。(奈々子)

昨日の続き。出勤のときの急な坂にはそういえば急すぎるがために階段とエスカレーターがある(住宅地の真ん中に、です)。のぼりはやっぱりきついんだけど帰りのくだりは、リズムカルにとんとおりれる。落下の恐怖はない。

夜、松本さんと6stepsをのぼりおりする身体を見あう。のぼりおりの反復で身体に積み重ねられるものについて話す。ディレイの蓄積。ミニマルなハウスミュージックとともにのぼりおりする。反復。ちょっとトランス感が出てくると急に落下の恐怖が去来して身体がこわばる(そういえば松本さんは特に恐怖なくのぼりおりしている感じがしてすごい。ただ恐怖感がないためかよく頭を天井にぶついたりスネを階段にぶついたりしている。頭を天井にぶつけるたびに家が震え、松本さんも心配だし、下の階の大家さんの家にまで響いていないかも心配になる。夜なので)。暮らしの反復、みたいなことも連想するが感覚としては繋がってきていない。(西本)

11月13日(月)

今日は天気が良くて外で練習。身体をあたためるために緑道をまっすぐまっすぐ歩き、折り返して団地の敷地内にある素敵な階段の6段を借りる。野外は天井がないのできもちいい。吹き荒ぶ風を右側に受けながら上り下りする。風がいろんなものを身体に運び込んでくれ、言葉の通り風通しがよい時間。住んでいる街も季節も違うけれど自宅の周りをこれだけ歩き回っているとコロナのころを思い出す。(奈々子)

のぼるとおりの違いを考えました。身体を持ち上げることと、身体を落とすことはダンスを語るときの対比としてよく耳にします。毎日職場にいくとき、結構急な坂をのぼるのですが、のぼるときは身体が前傾というか上半身を折る感じの身体になります。帰るとき、坂を降るときも、少し前傾になるのですが、背筋が伸びている。膝も伸びている(のぼりのときは膝も曲がってる)。そしてだんだんと速度が上がっていく。その途中で、膝を折ったり、上半身を折ったりすると一気に負荷がかかります。明日は坂をのぼるとき、少し身体を上方に伸ばしてみようと思う。(西本)

11月12日(日)

午前中にミーティングとリハ。松本さんが持ってきてくれたインストラクション候補となる言葉の群れを眺めながらおしゃべりする。すぐに二人とも言葉は尽きる(けど、松本さんが駅前の大階段で採取してきた風景の描写はとて素晴らしい)。昨日からとても寒いこともあり、冷え切っている。話はあまり進展しなかったので、おやつを出して、もそもそ食べながらいくつかの言葉をピックアップして、並べて、それをもとにそれぞれお互いに6stepsをのぼりおりしてみる。上半身裸でののぼりおりはこの季節ちょっときつい。暖房をつける。キーワードになりそうな言葉と身体のあり方がひとつ見つかった。やったあ！やること・やれることを極端に限定すると、話が盛り上がるし、いろいろ試してみたくになります。

ダンスが生まれるというのがどういうことかまだわからないけど、限定された方法で6stepsと関わって、そこから身体の動かし方を組み立てて、何かまた展開してみることになった。

ところで、舞台の上の階段というのはとてもドラマチックで、音楽のライブとかそれこそ今朝ドラでやってる『ブギウギ』のステージとしても階段は使われている。ステージとしての階段。当たり前だけど、そういう魅力もあるよなあ。

松本さんが出かけたので、6stepsに座って少し仕事をしたりNETFLIXをみたりする。足元にデロンギ。(西本)

とつてもさむいひ。朝ミーティングとリハ。難航するけれど、6stepsを登り出すと一瞬で時間はすぎる。西本さんと交互に同じインストラクションで動きをみあう。西本さんのことはわたしはいつもおもしろいと思っているのだけど、6stepsのうえで動くのもおもしろい。変な軽さがある。

帰宅後ミーティングでみつけたキーワードをてがかりに、6stepsとの別の関わり方、インストラクションをさがす。鳥の背中を観察。夜ご飯にカリフラワーの茎パスタと牡蠣のバターいためとレモンサツマイモを食べた。とうとうきた、冬！(奈々子)

11月11日(土)

昨日と今日、松本さんと話したことを6stepsを正面に据えて反芻してみる(6stepsが家にあることのありがたさのひとつに、いつでも6stepsを目の前にすることができる。モノがそこにあることの強い刺激！)。

6stepsはさまざまな遊び方・使い方・関わり方が可能です。YAUにおいてあった6stepsに関わる人々をみてもそれを強く思った。ボールの壁当てを6stepsに対してする、みんなで横になって六段全てを埋めてみる、スピーカーを6stepsの中に入れてみる、MステのOP曲(B'zの松本孝弘作曲のアレ)を流しながら6stepsを降りてくる、お尻だけでのぼりおりする、なんかただならする・・・パッと思い出すだけでもいろいろある。

もちろん、家にある6stepsと遊んでいてもいろいろ遊び方を思いついてどれも結構楽しい。どれもわたしたち自身にとっては面白い。ただ、どの面白さを採用して、それをどう観客と共有すればいいのか、それを決める基準が二人ともなかなか見つけられずにいる。

金曜夜の松本さんのおしゃべりで、松本さんは大いに頭を抱えていた。6stepsと関わる中でいろいろ自分の記憶とか、没頭できる遊びは見つかるけれど、それは自分にとっての面白さであって、じゃあそれを人前で見せるにあたってどうすればいいのか、ということ悩んでいた(と受け取った)。わたしもそれを悩んだ(これは毎回作品を作るたびに二人で悩んでいることでもある)。

結果として、それぞれ自分の楽しい感覚やそこから思い出されることや連想されることを溜めていって、言葉として記録していこうということになった。出演者による面白いと思うことの追求と、それをみる観客の視線や「欲望」(ダンスを観ることにおける観客の期待ってなんだろう?)をどこで交差させるのかはもう少し先に松本さんと話すことになった。

ちなみにわたしは6stepsに集まる身体というものに関心があるっぽいんだけど、それは木村玲奈さんがやっている「6stepsを置いてみる」シリーズで割と試みられていると思うので、「上演」という形式をとる今回は別の何か切り口の方がいいのかなあと気がしている。(西本)

とつてもさむいひ。テキストをかく。(松本)

11月10日 (金)

朝のニュースを流しながら6stepsを上り下りすることからいちにちは始める。ビデオで撮影して自分の身体についてメモ。「踊りを探す」と振付書にある指示について毎回立ち返っているのですが、あらためて振付書を読むと、主語が「出演者は」になっている。音楽をかけて登り降りすると、3段目くらいで地震が来た。6stepsの下に隠れた。動きのためのディレクションを考えることと6stepsの上演のディレクションを考えることを並行して。大きな階段にすわってみていた。今日も歩きはじめたばかりみたいな子が保護者のをとり階段を上り下りしていた。子は上り終わりとなり終わり必ずこちらを見て、拍手を促すので、わたしはそのたびにその子に拍手を送った。

夜西本さんとミーティング。みんなで楽しめる6stepsにこんなにひとりで潜ってしまって大丈夫なんだろうかという心配を言語化するうちに、潜った上で6stepsのできるいろんなことのうちどれを選ぶかが演出なんじゃないかというはなしをして、いったん落ち着いた。テキストをもっとかく。(奈々子)

6stepsと他の階段の違いの一つに、「落ちそう」というのがある。怖い。ヒュッとする。落下の恐怖は強い。(西本)

11月9日 (木)

今日は6stepsのまわりを模様替えして整えたあと、テキストを書きながら6stepsと過ごす。いまかいてるテキストは、潜りすぎないでちょっと浮かばなきゃ息できないしつれないので書くみたいな、そういう側面がある。6stepsが家にあると放っておけなくてずっと家にいてしまう。つきっきりで育ててみたいなきもちになる。散歩の時間をつくるのはどうか?? テキストをもっとかく。

(奈々子)

朝、少しだけ6stepsに座って本を読む。小さく声に出してみる。誰にも見られてないのでどんな感じだったのかはよくわからない。が、どこか大袈裟な感じになってしまう。難しい。(西本)

11月8日 (水)

昨日の西本さんと話したことを思い出しながら出かけるまで6stepsのうえで過ごし、メモする。日中、6stepsを照らす光の量が変わっていくのを見るのが好き。帰宅後あべさんがくる。ふつうに6stepsのうえで作業をはじめのあべさん。(奈々子)

あかりのついていない家に帰ってきて、電気をつけずにリビングに入ったら6stepsにぶつかりそうになった。記憶の中の6stepsより実体は大きい。

夜はいつもチープロを助けてくれるあべさんが来た。6stepsを囲んでまた別のプロジェクトの話。6stepsはやはり囲みたい。囲まれてる6stepsの存在感と、6stepsがそれだけでそこにいるときのゴツとした存在感のギャップの往復。

(西本)

11月7日 (火)

階段まわりの掃除。「足の裏」という言葉を手がかりに6stepsのうえで過ごす、メモする。

夜、食事のあと西本さんとお互い見合う。一人で昼にやるのとは随分違う。稽古場とも違う。(奈々子)

6stepsに毎日、夜、のぼることを松本さんと決めた。夜の方が時間があるから、というのもあるけれど、夜の方が6stepsが少しよそよそしい感じがするからというのも個人的には、ある。馴染みすぎているということ(11月4日の記録を参照)。

松本さんがのぼりおりする姿をみる。身体をバウンスさせながらのぼりおりする姿が面白かった。両肩と背中に重さが乗って、それを揺らしている感じ。6stepsの高さはおよそ120cm。そこまで高くないが低くもない。6段目に立つと当然天井に身体がつく。松本さんだと首の付け根くらいが。わたしだと背中がつく。身体をバウンスさせる松本さんは天井を引き連れているようでもある。

もう一つ面白かったのは、頭の位置を変えずにのぼりおりする動き。のぼっていくと身体は低くなる。6段目につくタイミングで手がついに床(段)につく。そこから降りてくると、背中が伸びていく。まるで階段を降りると人間に戻るよう。

自分がのぼりおりしてみる。体感として面白かったのは、足の裏を擦りつける(雑巾で掃除するような感じ)動きから始めてだんだん身体のいろいろな部分を擦りつける動き。振付書にある「足の裏の感触を楽しむ」という言葉を身体のさまざまな部位に拡張する感じ。というふうに松本さんからのコメントを受けて、今、言語化してみた。あと面白かったのは6stepsを押してみること。重さを感じる。部屋に馴染んでいる6stepsにはあまり重さがない。重い物が部屋にあるのだということを再認識する。1日活動してから6stepsをのぼりおりすると身体も結構重い。疲れる。ところで、公演タイトルにもある「ダンスが生まれる」とはどういうことなのだろうか。(西本)

11月6日 (月)

階段まわりを片付けてから、昨日思った通りに時計と本棚の位置を変えた。時計をよく見える位置から外したら時間がわからなくなった。

6stepsのうえで踊りを探す時間は一人で潜る時間で、それについて書くのはまだ難しい。

外の階段をあるくひとを観察するようになると、同じ町に住むひとのからだのことを気にかけて見ていることに気づいた。(奈々子)

11月5日 (日)

朝起きてドアを開けると6stepsがリビングにある。キッチンにいくまえに振り返ってとりあえずゆっくり登って降りてみる。降りたその足でキッチンへ移動して、お湯を沸かす。リビングにもどり3段目に座って沸くのを待つ。コーヒーをいれて朝ごはんを用意して6stepsをみながら食べる。窓側が照らされてきれい。2段目に座って歯ブラシをする。6stepsがリビングにあると、6stepsがあることを無視できない。しかも、換気扇のゴーっという音や西本さんのくしゃみが部屋にあるということも気になってくる。

あまりにも溶け込みすぎている気がして、本棚と時計の位置を変えたいな〜とおもった。(奈々子)

11月4日 (土) 6stepsをむかえる

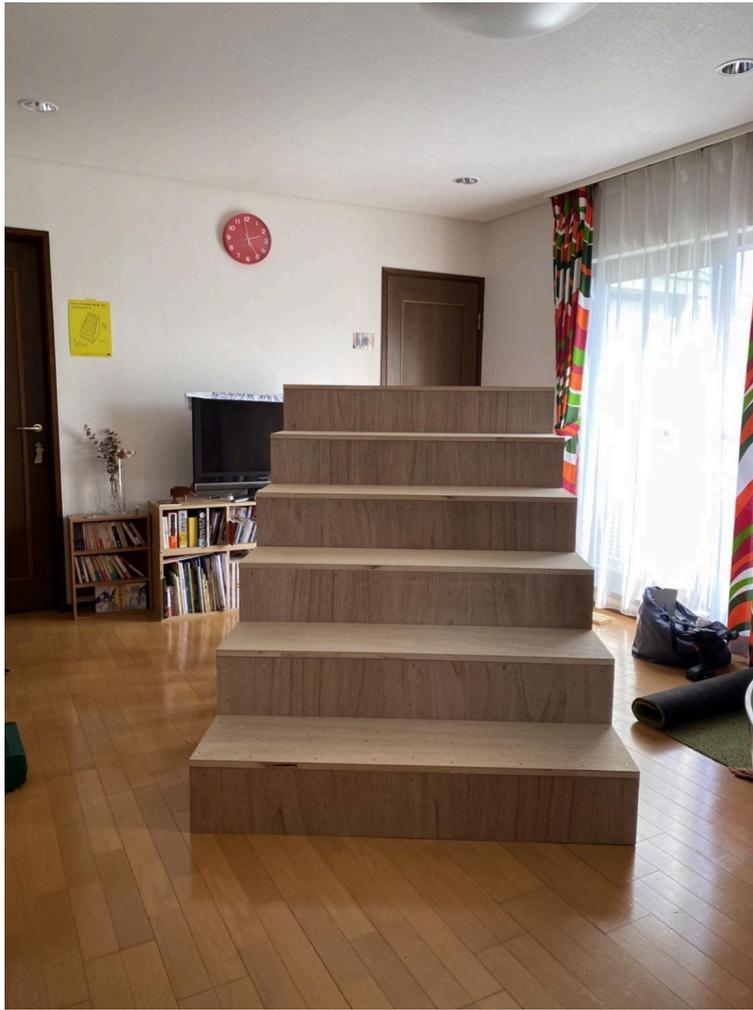
玲奈さんと晴彦さんに、6stepsを組み立てにきていただきました。お昼ご飯に引越し蕎麦を用意して皆で食べました。(奈々子)

6stepsを自宅兼制作室に招くにあたって部屋にスペースを作った。ものが一度減ったので、声がよく響く。これまで、6stepsには2度関わる機会があった。1度目は2022年2月の「6stepsを置いてみる STスポット編」にお邪魔したときに。2度目は2023年8月の「6stepsを置いてみる YAU編」で。STスポットという劇場と、YAUというオフィスビルでは6stepsはまったく見え方が違った。STスポットは天井が高いこともあり、悠々としていて、かつきりりとした佇まいだったけれど、YAUではもう少し小さく見えた。実際YAUでは6段目に登ると首の付け根あたりが天井についてしまったので、関わるこちらとしても少し身体をすぼめるような感じもあったのかもしれない。けれど、6stepsを中心にした雑談や会話の雰囲気はYAUの方が空間的な広がりがあった。というよりも、6stepsをちょっと無視できる感じがあった。気がする。6stepsというオブジェクトの魅力は、その周囲まで含めて人が集まる場所にしてしまうこと、けれど上り下りすれば途端に身体が見えてくるということにあるとひとまず思っている。

で、家にきたわけですが。組み立て中はなんだかお祭りの準備みたいでワクワクして、出来上がって最初に登ったときは部屋の見え方も大きく違って、それでみんな蕎麦も食べて、始まるぞ！って気分だったのだけど、玲奈さんと晴彦さんが帰って、しばらくすると、なんだか馴染んでしまった。部屋に。それこそ家具というか、子どもが使うための少し大きめの、家にある遊具みたいな佇まいで、「自然に」接することができる。6stepsは再びぼくらの音を吸って部屋の空気ももとの感じに戻した。

6stepsが家に来る前に自分に課したルールが一つだけあります。それは、服をおかない、ということです。脱いだ服、とり込んだ洗濯物、畳んだ服、なんにせよ服はおかないことにした。

家にある6stepsの自然さは油断すると服を置かせにかかってくる気配がある。もう少し6stepsが家にあることの不気味さを引き出せるような関わり方も考えてみたい。神聖な気持ちで登ったり、周囲の物の配置を少し変えた方がいいのかもしれない。(西本)







 private room for 6steps

西本・松本だけがみることができるprivateroom

6stepsの様子をinstagramのハイライトでも公開しています

<https://www.instagram.com/teamchiipro/>